

大阪経済記者クラブ会員各位

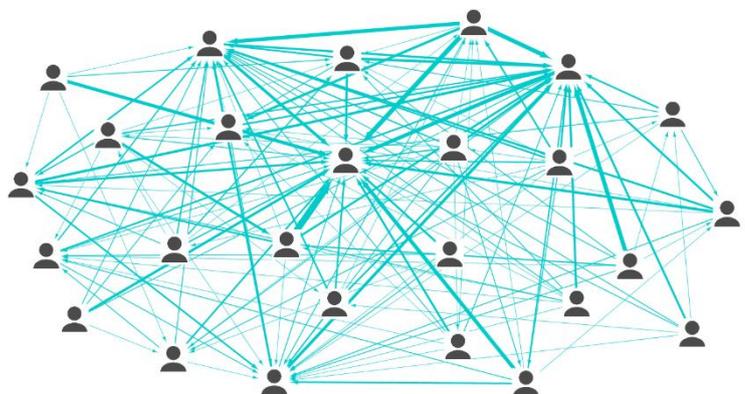
～「実証事業都市・大阪」実現に向けた実証実験支援～ ブロックチェーン技術を利用した個人間コイン流通サービスの実証の結果発表

【問合せ】大阪商工会議所 国際部（笹本）
TEL：06-6944-6411

- 大阪商工会議所が、大阪府、大阪市とともに構成する「実証事業推進チーム大阪（本年7月に「実証事業検討チーム」から改称）」では、大阪商工会議所を実証フィールドとして提供し、アララ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：岩井陽介氏）によるブロックチェーン技術を利用した個人間コイン流通サービスの実証を支援した。
- 同実証は、大阪商工会議所の職員26人が、本年4月17日～6月14日の約2カ月間にわたって、同社が開発した個人間コイン流通サービス「arara coin（仮称）」を本会議所向けに「彩コイン（irodori coin）」としてカスタマイズしたウェブアプリケーションをテスト利用し、コミュニケーションの活性化への寄与を探るもの。
- 実験の結果、部門や年齢を超えたやり取りが生じ、コミュニケーションの活性化に繋がることが分かったほか、当初想定していなかったコインのユースケースも生まれた。
- アララ株式会社は、この結果を踏まえ、社内コミュニケーションの改善に努める企業に対し、個人間コイン流通サービスの提供を進める予定。

■結果概要

- 80%以上の参加者が、利用前と比べてコミュニケーションが活性化したと回答。
- 「良い行動」に対する評価以外に、所内のイベント案内等の連絡手段としても活用された。
- クラウドファンディングの手法を用いて、職員が業務効率化につながる簡易な業務ツールを作成する前に、どの程度の利用が見込めるかについて調査するために使われた。



irodori coin 実証参加者による送受信先と送受信頻度

※結果についてはアララ株式会社からのプレスリリースを参照

■背景と課題

- 現在、多くの組織では、職員間での業務ノウハウ共有やアイディエーションへの協力などの組織に対してポジティブな行動をとったとしても、それらの行動は可視化されることもなく、直接的に評価されることは少ない。
- しかし、こうした目に見えない「良い行動」が、業務効率化や想像力の発揮（＝社会的な価値）、個人のモチベーションの向上（＝内面的な価値）につながっている側面がある。
- そこで今回の実証実験では、参加者が、他の職員や組織全体にとって「良い行動」をしたときに「irodori coin」を相互に贈り合い、担当や部署・フロアを超えたコミュニケーションの状況を把握するとともに、irodori coin コミュニティの活性化に対する貢献度の可視化を試みた。

■実証実験の概要

- 期 間 : 2019年4月17日～6月14日
場 所 : 大阪商工会議所（大阪市中央区本町橋2番8号）
参加者 : 大阪商工会議所 職員26名（有志）
実施主体 : アララ株式会社
内 容 : ウェブアプリケーションを使った大阪商工会議所職員間におけるコインの流通

以 上

<添付資料> 資料1: アララ株式会社による本件に関するプレスリリース

¹ 本人が利益を得られるとは限らないが、職場の同僚や組織全体に利益をもたらすような行動。社会的な（＝社会全体の持続性を高める）価値や、内面的な（＝個人の内面にポジティブな効果を及ぼす）価値に分類される。

「ありがとう」の可視化が 社内コミュニケーションに活性化に有効

アララ、ブロックチェーンを活用した個人間コイン流通サービス実証実験結果を発表

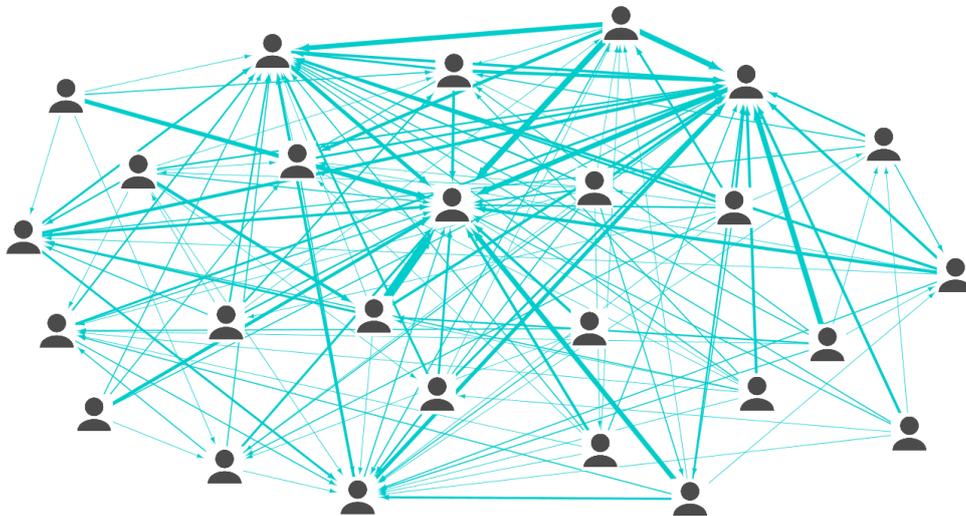
アララ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:岩井陽介 以下、アララ)は、2019年4月より約2か月間、大阪商工会議所にてブロックチェーン技術を活用した個人間コイン流通サービスの実証実験を行いました。「良い行動」※1 に対して、コインを送りあい貢献を可視化するという実験の結果、部門や年齢を超えたやり取りが生じ、コミュニケーションの活性化に繋がることが分かりました。アララは、この結果を踏まえ、実証実験告知時から関心を寄せていただいている企業をはじめ、社内コミュニケーションの改善に努める企業に対し、個人間コイン流通サービスの提供を進めてまいります。

※1:本人が利益を得られるとは限らないが、職場の同僚や組織全体に利益をもたらす行動。社会的な(=社会全体の持続性を高める)価値や、内面的な(=個人の内にポジティブな効果を及ぼす)価値に分類される。

■背景と課題

現在、商工会議所内の多くの組織では、職員間での業務ノウハウ共有やアイディエーションへの協力などの貢献に際し、直接的に評価されることはありません。しかし、こうした目に見えない「良い行動」※1 が、業務効率化や想像力の発揮(=社会的な価値)、個人のモチベーションの向上(=内面的な価値)につながっている側面があります。

本実証実験では、参加者が、他の職員や組織全体にとって「良い行動」をしたときに「彩コイン(irodori coin)」を相互に贈り合い、担当や部署・フロアを超えたコミュニケーションの状況を把握するとともに、コミュニティの活性化に対する貢献度の可視化を試みました。

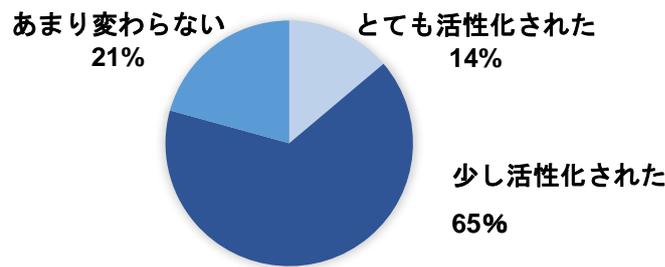


トランザクションのイメージ

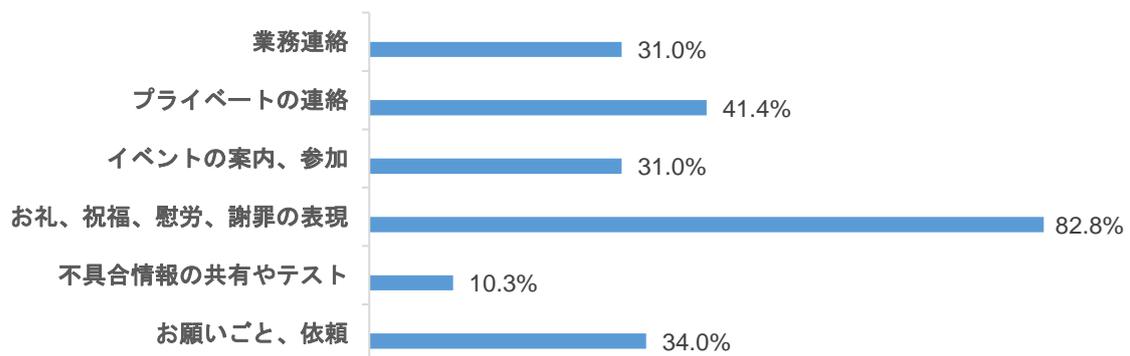
■結果

80%以上の参加者が、利用前と比べてコミュニケーションが活性化したと感じていることが分かりました。やり取りの頻度としては、週1回が過半数をしめ、「メールを送るほどでもない内容やSNSを知らない相手とのやりとりのキッカケになった」などの意見が寄せられました。また、「良い行動」に対する評価以外に、イベント案内などの連絡手段にも活用されることが分かりました。

<コミュニケーションの活性化につながったか>



<どのような用途で利用したか>



また、実験を通じ、クラウドファンディングのようにアイデアへの興味関心やニーズを図る手段としての活路も見出されました。例えば、コインが 10 枚集まれば、業務に役立つ EXCEL のマクロを作成するという告知をし、10 枚集まれば作成、達しなかった場合はコインを返却するといった活用法などです。

■今後の取り組み

アララでは、今回の実証実験の結果を受け、社内コミュニケーションの活性化をはじめ、インセンティブとしての活用、さらには社員食堂やオフィス菓子の購入など購買活動での利用も見据え、サービスの改善に取り組んでまいります。

<活用方法>

- ・組織内コミュニケーションの活性化
- ・組織内インセンティブプログラム
- ・組織における決済のキャッシュレス化

■実証実験の概要

期間 : 2019 年 4 月 17 日～6 月 14 日
 場所 : 大阪商工会議所(大阪市中央区本町橋 2 番 8 号)
 参加者 : 大阪商工会議所 職員 26 名(有志)
 実施主体: アララ株式会社
 内容 : ウェブアプリケーションを使った大阪商工会議所職員間におけるコインの流通

<アララ株式会社 会社概要>

会社名 : アララ株式会社(arara inc.)
 URL : <https://www.arara.com/>
 所在地 : 〒107-0062 東京都港区南青山 2-24-15 青山タワービル別館



設 立 :2006年8月16日

資 本 金 :331,500,000円

代表取締役社長 :岩井 陽介

事業内容 :

【電子マネー/CRM事業】

電子マネー管理、ポイント管理、会員管理、メール配信等を含む統合型販促パッケージ「point+plus」、及びそれに関わるSI・アプリケーションの開発・提供

【メッセージング事業】

高速メール配信サービス「arara メッセージングソリューション」の開発・提供

【データセキュリティ事業】

個人情報検出・管理ソリューション「P-Pointer シリーズ」の開発・提供

【AR事業】

ARプラットフォームアプリ「ARAPPLI」、ARサイネージ「ARAPPLI SIGNAGE」、及びそれに関わるSIの企画・開発・提供

【QRコード®関連事業】

スマートフォン向けアプリ「公式QRコードリーダー“Q”」及びQRコード作成サイト「QRコードメーカー」の開発・提供

<本件に関するお問い合わせ先>

アララ株式会社 高田 TEL:03-5414-3611 Mail:pr@arara.com

※記載されている会社名及び商品名/サービス名は、当社の商標または登録商標です。

※プレスリリースに掲載されている内容、サービス/製品の価格、仕様、お問い合わせ先、その他の情報は、発表時点の情報です。その後予告なしに変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。